

第 53 回 バトントワリング全国大会九州予選

審 査 要 領

審 査 規 定



日本バトン協会九州支部

1. 審査員長・副審査員長・審査員・審判員

小学校 中学校 高等学校 大学

(1) 審査員長

- ① 審査委員長は 1 名とし、審査全般の最終判定を行うとともに審査審判を円滑に遂行する。

(2) 副審査員長

- ① 副審査員長は 1 名とし、審査員長を補佐する。
 ② 下記の規定を審査する。
 ア. 実施規定 3. 構成 4. 演技
 イ. ノードロップ
 ③ 審判員より違反の報告を受けたら内容の確認を行い審査員長に報告する。

(3) 審査員

- ① 審査員は 5 名とし、下記の内容を審査基準に基づき総合評価とする。
 ア. サクセスレート(作品完成度)
 イ. ジェネラルエフェクト(全体的効果)
 ウ. パフォーマンス a, ステージング
 b, バトントワリング
 c, ボディワーク

(4) 審判員

- ① 審判員は罰則を判断した場合に副審査員長に報告する。
 ② 審判員は 2 名とする。
 ③ 審判員は下記の規定を審判する。
 ア. 3. 構成 4. 演技
 イ. ノードロップ

2. 成績・成績判定・表彰

(1) 成績

小学校 中学校 高等学校 大学

- ① 審査規定 1.(3)の項目を審査基準に基づき 100 点法(少数第 1 位)で採点する。
 全国大会推薦について次の通りとする
 ② 全審査員の席次合計点を集計し順位を決める
 全国大会推薦枠の最終枠に関係する同席次団体のみ、次の優先順位に従って推薦団体を決定する。
 優先順位 1. 全審査員の投票により決定する。

(2) 成績判定

小学校 中学校

- ① 各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。
 金賞: 80 点以上
 銀賞: 65 点以上 80 点未満
 銅賞: 65 点未満
 ★ 全国大会推薦団体は金賞とする。

高等学校 **大学**

①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。

金賞:85 点以上

銀賞:70 点以上 85 点未満

銅賞:70 点未満

★全国大会推薦団体は金賞とする。

(3) 表 彰

①全出場団体に、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。

但し、実施要項5. 罰則(2)違反の場合は除く。

②金賞受賞団体に副賞を授与する。

☆ノードロップ賞☆

出場団体に対してバトンが一度も落下しなかった団体にノードロップ賞を授与する。

学校部門				審査基準	審査内容
小学校	中学校	高等学校	大学		

【審査基準】

【審査基準】		正 確 さ	審 査 項 目	成 績
BOX5	100 - 85 AAA AA A	ほぼ正確	多くみられる	金賞
BOX4	84 - 80 BBB BB B	だいたい正確	みられる	銀賞
BOX3	79 - 70 CCC CC C	正確さが少しみられる	少しみられる	
BOX2	69 - 60 DDD DD D	正確さがあまりみられない	あまりみられない	銅賞
BOX1	59 - 0 EEE EE E	正確さがみられない	みられない	

★構成人数に対し30%以上のドロップがある場合は BOX5には該当しない場合がある

★バトントワリング技能検定1級の技術内容が BOX5 に値する

【項目別審査内容】年齢による到達度を考慮し評価する

サクセスレート

実 施

- ・到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング

表 現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

ジェネラルエフェクト

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和
(過度な露出は避けたものが望ましい)

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・基本に正確なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・バトンによる点、線、立体のデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカルティー、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と統一したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワークの多様性
- ・ステージングとバトンやボディワークの組み合わせ
- ・バトンによる点、線、立体のデザインの使い方

バトントワリング

- ・グループ全員のバトンテクニック
- ・バトンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
 - ・グループトワールの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなバトンの使い方
- ・バトンとボディワークやステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの組み合わせ

1. 審査員長・副審査員長・審査員・審判員

U-12 U-15 U-18 OPEN

(1) 審査員長

- ① 審査員長は 1 名とし、審査全般の最終判定を行うとともに審査審判を円滑に遂行する。

(2) 副審査員長

- ① 副審査員長は 1 名とし、審査員長を補佐する。
② 下記の規定を審査する。
ア. 実施規定 3. 構成 4. 演技
イ. ノードロップ
③ 審判員より違反の報告を受けたら内容の確認を行い審査員長に報告する。

(3) 審査員

- ① 審査員は 5 名とし、下記の内容を審査基準に基づき総合評価とする。
ア. サクセスレート(作品完成度)
イ. ジェネラルエフェクト(全体的効果)
ウ. パフォーマンス a, ステージング
b, バトントワーリング
c, ボディワーク

(4) 審判員

- ① 審判員は罰則を判断した場合に副審査員長に報告する。
② 審判員は 2 名とする。
③ 審判員は下記の規定を審判する。
ア. 3. 構成 4. 演技
イ. ノードロップ

2. 成績・成績判定・表彰

(1) 成績

U-12 U-15 U-18 OPEN

- ① 審査規定 1.(3)の項目を審査基準に基づき 100 点法(小数第 1 位)で採点する。
全国大会推薦について次の通りとする
② 全審査員の席次合計点を集計し順位を決める
全国大会推薦枠の最終枠に関係する同席次団体のみ、次の優先順位に従って推薦団体を決定する。
優先順位 1. 全審査員の投票により決定する。

(2) 成績判定

U-12 U-15

- ① 各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。
金賞: 80 点以上
銀賞: 65 点以上 80 点未満
銅賞: 65 点未満
★ 全国大会推薦団体は金賞とする。

U-18 **OPEN**

①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。

金賞:85 点以上

銀賞:70 点以上 85 点未満

銅賞:70 点未満

★全国大会推薦団体は金賞とする。

(3) 表 彰

①全出場団体に、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。

但し、実施要項5. 罰則(2)違反の場合は除く。

②金賞受賞団体に副賞を授与する。

☆ノードロップ賞☆

出場団体に対してバトンが一度も落下しなかった団体に、ノードロップ賞を授与する。

一般部門	審査基準	審査内容
------	------	------

U-12 U-15 U-18 OPEN

【審査基準】

【審査基準】		正 確 さ	審 査 項 目
BOX5	100 - 90 AAA AA A	正確	多くみられる
BOX4	89 - 80 BBB BB B	ほぼ正確	みられる
BOX3	79 - 70 CCC CC C	正確さが少しみられる	少しみられる
BOX2	69 - 60 DDD DD D	正確さがあまりみられない	あまりみられない
BOX1	59 - 0 EEE EE E	正確さがみられない	みられない

★構成人数に対し30%以上のドロップがある場合は BOX5には該当しない場合がある

★U-12,U-15 はバトントワリング技能検定1級の技術内容が BOX5 に値する

【項目別審査内容】年齢による到達度を考慮し評価する

サクセスレート

実施

- ・到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性、多様性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと工夫あるステージングの展開

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン

ジェネラルエフェクト

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美が活かされた作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・正確で優秀なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・フロア、点、線、立体、空間によるデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性、優秀さ
- ・音楽と統一したステージングや動きのある組み合わせ
- ・スムーズなフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアデザインの多様性
- ・ステージングとバトンやボディワークの工夫ある組み合わせ

バトントワリング

- ・グループ全員のバトンテクニックの正確さ、優秀さ
- ・バトンリズムと音楽リズムの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・トワリングの多様性
- ・グループ技術の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなバトンの使い方
- ・バトンとボディワークやステージングの工夫ある組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニックの正確さ、優秀さ
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・グループ演技の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの工夫ある組み合わせ